

## 実技試験・面接試験 ガイドライン（改訂版）

### 1. 患者に関すること

- ・ 患者に対する接遇が重要であることを十分に認識し実行できること。
- ・ 患者誤認防止対策、医療安全対策を十分理解し実行できること。
- ・ 検査全般を通して患者への声掛けなどの配慮ができること。
- ・ 心エコー図検査について分かりやすく説明ができること。
- ・ 患者から質問に適切に対応できること。
- ・ 患者急変時においては、BLS（basic life support）の手順を理解し、実行できること。
- ・ 検査時に患者の体調や障害に配慮して、患者への声かけや検査室内での移動補助など、適切な対応ができる。

### 2. 装置に関すること

- ・ 描出・記録・計測を行う際に、探触子の選択やゲイン・フォーカス、速度レンジの設定も含め、各々適切な条件設定ができること。
- ・ 保守点検ができること。
- ・ スムーズな検査が行えるよう、装置も含め機器回りの整理整頓を心がけていること。

### 3. 検査手技、記録、計測に関すること

- ・ 患者の呼吸コントロールを適切に行い、ガイドラインに準じた心臓および血管の基本断面、特殊断面を確実に描出・記録できること。
- ・ 基本的小および特殊な心腔・血管内血流を血流速波形も含め、確実に描出・記録できること。
- ・ 基本的な計測を適切かつ正確に行えること。特に心内膜のトレースラインや、ドプラ波形の計測部位・指標には注意すること。
- ・ 各種疾患の重症度評価および定量評価が適切かつ正確に行えること。
- ・ 右心・左心機能評価を適切かつ正確に行えること。

### 4. 経食道心エコー図検査に関すること

- ・ 検査技師の役割を説明できること。
- ・ 検査前・検査中・検査後に行わなければならないこと、注意点等について説明できること。
- ・ 基本的な断面の解剖を理解し、描出方法を説明できること。

以下余白